

(7) 振動

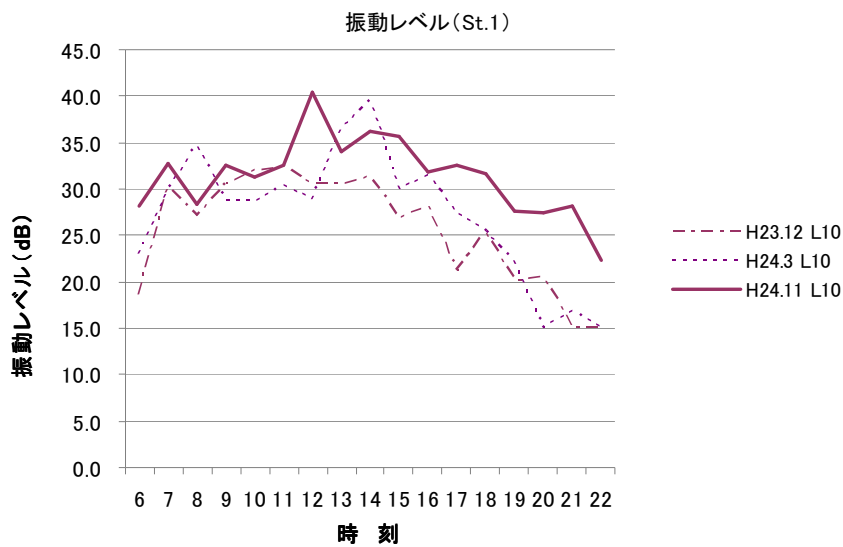
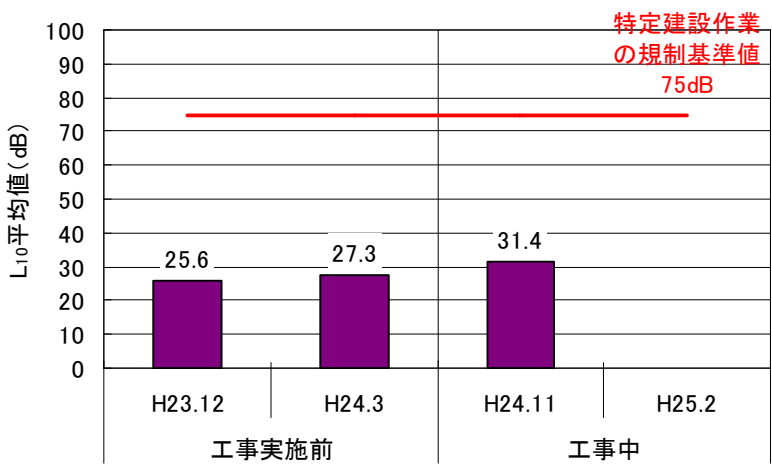
【参考資料 P. 65～66 参照】

評価項目	視点	今年度(11月)の調査結果概要
工事実施前と実施中の変化状況	低振動型建設機械の効果確認	・ L_{10} で見た場合、特定建設作業の規制基準値である 75dB より低い値であり、昨年度と同程度であった。

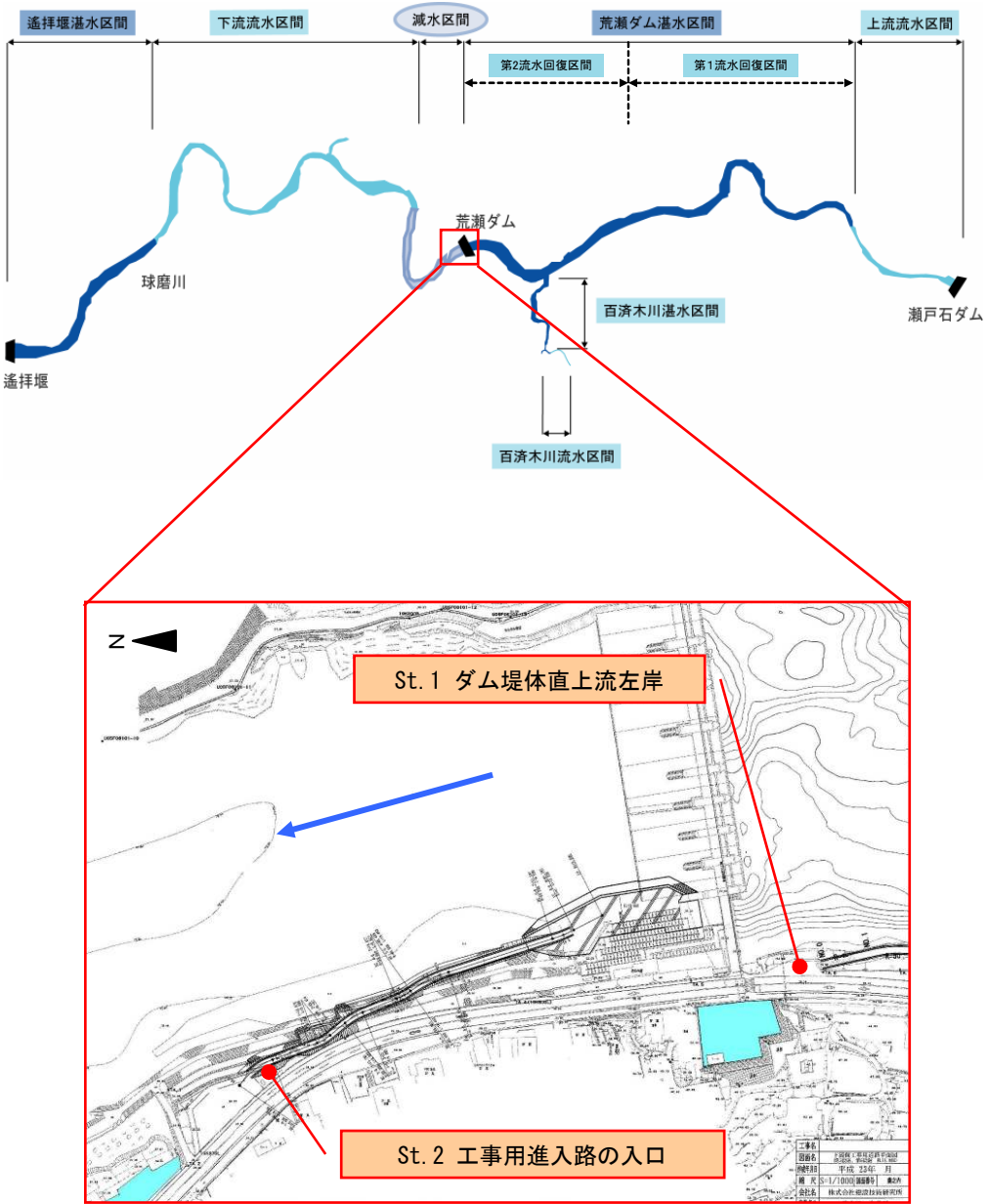
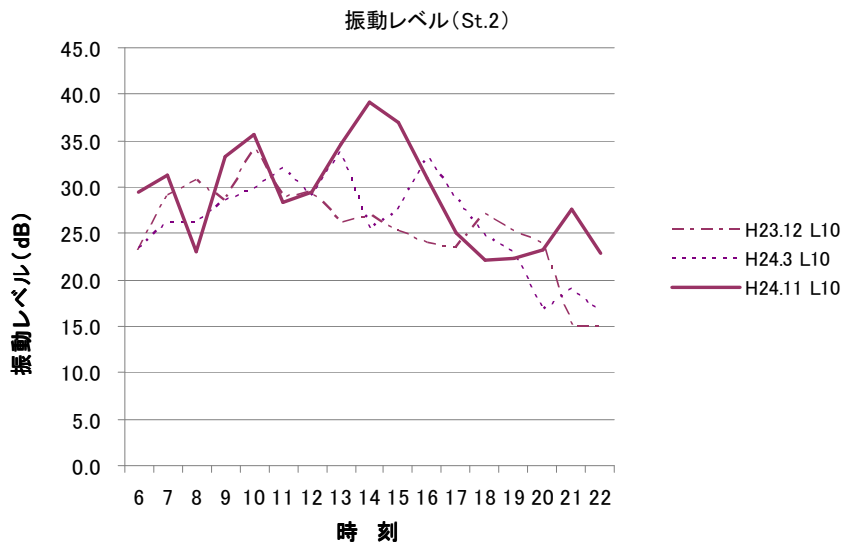
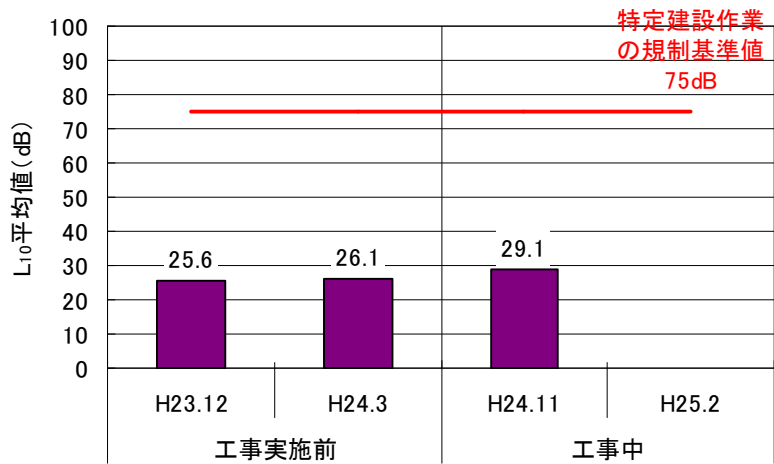
※工事期間のうち、建設機械の稼動が最大となる時期に実施する。具体的には、仮設進入路の造成時期及び放流工の掘削時期とする。

振動

St. 1 ダム堤体直上流左岸



St. 2 工事用進入路の入口



【用語の解説】 L_{10}

・ある観測時間内において、観測時間の 10% の時間で、ある振動数を超えている場合、その振動数のこと。下図の例では、「A 秒+B 秒+C 秒」が $T/10$ となる 75dB が L_{10} である。

